



## 祝 辞

函館市長 工藤 壽 樹

皆さんおはようございます。

全国連合小学校長会の北海道大会が盛大に開催されますことをご喜び申し上げますとともに、皆様には全国各地から、ようこそ函館にお越しいただきました。心から歓迎申し上げます。

北海道では、先月の6日に北海道としては初めての最大震度7を記録する北海道胆振東部地震が発生いたしました。これも日本で初めてのブラックアウトを引き起こすとともに、震源地の胆振地方などでは土砂崩れ等により甚大な人的・物的な被害をもたらしました。

今年は、全国的にみても台風や豪雨などによる災害が相次いでおりまして、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、被災された地域の1日も早い復旧・復興を願っているところであります。

現在の我が国は、世界の国々がかつて経験したことのないスピードで少子化と高齢化が進行しており、2011年以降8年連続で日本の人口は減少しております。函館市におきましても、人口減少や少子・高齢化が全国を上回るペースで進んでおり、こうした喫緊の課題に、どのように対応していくべきか、単に少子化対策だけにとどまることなく、人口減少を真正面から受け止めながら今後の社会の在り方を総合的に検討していくことが必要であります。そうした中で、これからの苦難を乗り越え人口減少時代にあっても、一人一人がより豊かな、幸せな社会を実現していくためには個々の資質を向上させる教育の力が極めて重要であると考えております。

社会やまちが持続的に発展し、次の世代にしっかりと引き継がれていくためには、教育を通して現状を認識しつつ、この国やまちの未来のために積極的に行動する人材を育成することが大切であります。

特に、小学校の6年間は社会や自然との関わりの中で、多くの活動や体験を行い、人格を形成す

る時期であり、社会を支える人材を育成する上で、極めて大きな役割を果たしております。

このような中、本大会が「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」をメインテーマとして開催されますことは大変意義深く、これを契機にふるさを見つめ、世界を見ながら、希望に満ちた未来の形成に向けて、視野を広くして、果敢に挑戦する気概をもった子どもたちを育てる学校経営が推進されることをご期待申し上げます次第であります。

函館市といたしましても、「まちづくりは、まず人づくりでもある」との考えのもとに子どもたちや若者の郷土への誇りと愛着を育み、まちを大切に、人を大切に、そして自分を大切にする気風や風土の醸成を図り、「函館TOM向上推進事業」を展開しているほか、ライフステージに応じた縦のつながりと社会全体の横の連携・協働を図り、まちづくりを支える人材を育成すべく各般の取組を進めてまいりたいと考えております。

皆さんには、今後とも、家庭だけではなく、広くまち全体で子どもたちを育てる社会の実現に向けてご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、皆さんをお迎えした函館市ではありますが、幸い地震の影響も少なく、観光施設などは平常どおり営業しております。大会後には、函館山からの夜景や異国情緒の街並み、特別史跡五稜郭などの観光スポットのほか、寿司や海鮮丼、塩ラーメンなどの函館の定番グルメに加えて、チャイニーズチキンバーガーや、やきとり弁当など、人気のご当地グルメも数多くありますので、この機会に函館の食と観光を是非お楽しみいただければ幸いです。

結びになりますが、本大会のご成功と全国、全道の校長会のみならずのご発展、ご出席の皆さんのご健勝とご活躍を祈念申し上げまして歓迎のご挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございます。